

令和3年度第3クォーターの授業開始に向けて ～ うつらない、うつさない行動を ～

金沢大学長 山崎光悦

学生の皆さん

令和3年8月6日付「【第28報】新型コロナウイルス感染症に関する注意事項」で通知したとおり、皆さんは9月17日までに「通学時の住所」に戻り、第3クォーターの授業開始に備えていることと思います。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、7月下旬から8月にかけて大幅に増加しました。これを受けて、7月12日に東京都に緊急事態宣言が発出され、その後順次追加され、8月27日には21都道府県に拡大されました。一時（8月19～21日）、全国の1日の新規感染者数が2万5千人を超えました。石川県では8月2日～9月12日の期間で金沢市を対象としたまん延防止等重点措置が適用され、さらに9月30日まで期限が延長されています。

このような状況を鑑み、本学では8月7日から活動指針を「レベル2（高度警戒）」に引き上げ、感染拡大防止に最大限の配慮をしても、密を避けられない授業は原則としてオンラインで実施したところです。

幸い、国民一人一人の感染対策への努力やワクチン接種の効果が重なり、9月から全国的に新規感染者数が減少へ向かうようになり、9月18日以降は5千人を下回っており、緊急事態宣言が出ている地域を含めほぼすべての都道府県で減少が続いています。

一方、本学ではワクチンの大学拠点（職域）接種を実施し、自治体等での接種希望も含めると88%の学生が8月27日までに2回目の接種を終えています。このことも勘案し、10月1日開始の第3クォーターでは、活動指針のうち、教育と研究活動については「レベル1（警戒・要注意）」に引き下げ、引き続き感染防止策を徹底した上で、できるだけ対面授業を拡大することにします。

なお、基礎疾患等を有する学生、不安を持っている学生には引き続きオンライン授業の提供等の配慮も検討するので、所属の学務担当係等に相談してください。

新型コロナウイルスは新しい変異株の出現など予測できないことが多く、一気にコロナ禍前の日常へ戻そうとすると却ってリバウンドの恐れがあります。そのため活動指針の引き下げは慎重に進めることとし、正課外活動は「レベル1.5（警戒）」としました。今後、金沢市へのまん延防止等重点措置が解除されるとともに、石川県のモニタリング指標が改善され、かつまた皆さんの協力により、本学の安心安全が確保できると判断できた場合には、金大祭〔10/30(土)・31(日)〕開催期間前の10月中旬辺りから正課外活動も「レベル1（警戒）」に引き下げ、キャンパスライフを少しずつ取り戻すことを検討していきます。

ワクチンの2回目接種後の発症予防効果は90%以上と発表されていますが（※1 厚生労働省 web）、7月以降は従来株よりも感染力の強いデルタ株への置き換わりが急速に進み、接種後の感染、いわゆる「ブレークスルー感染」の報告が増えています。ワクチンを接種していれば、感染が起こってもほとんどの場合、重症化を免れます。しかし、感染しても発病しないことも多いので自分ではそれと気付かないままにいることとなります（※2 厚生労働省 web）。

改めてのお願いです。体質や基礎疾患等でワクチンを接種できない人たちもいます。皆で社会全体を守り、日常のキャンパスライフにできるだけ戻したいと思います。自分から他人にうつさない最も確実な方法は、自分自身が感染しないことです。今後も、うつらない、うつさない行動を強く求めます。

本学としては、今後も感染防止策を徹底しながら、大学の活動を一步步ずつ前に進め、日常に戻していく方針ですので、引き続き皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

※1 : <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0011.html>

※2 : <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/column/0006.html>